

# 図書だより 9月号 星林高校図書館



二学期がスタートしました。分散登校やオンライン授業、行事の延期などもありますが、感染防止に注意しながら、二学期も元気に過ごしましょう！  
図書館にも新しい本がたくさん入りました♪



「君にさよならを告げたとき、愛してると思った。」  
小桜菜々／スターツ出版  
星林女子に人気の一冊。実話をもとにした純愛小説です。大学生同士の淡い恋、ライバルの出現、長い付き合いの末別れを選んだ二人の切ない恋のお話。恋愛小説を読みたい気分の人におすすめします！



「みとりねこ」有川ひろ／講談社  
猫の視点から描いた人間との生活や気持ち。  
7編から短編小説で、猫好きな人におすすめの一冊。

- 「さよならの向う側」清水晴木
- 「考えて、考えて、考える」藤井聡太・丹羽宇一郎
- 「本当の心の強さってなんだろう？」齋藤孝
- 「インヴァート」相沢沙呼
- 「コンビニ兄弟」町田そのこ
- 「カエル男ふたたび 連続殺人鬼」中山七里
- 「硝子の塔の殺人」知念実希人
- 「兇人邸の殺人」今村昌弘
- 「あんなにあんなに」ヨシタケシンスケ
- 「はたらく細胞 BLACK 1～8」原田重光



図書館で本を借りた人に、おすすめの一冊を紹介してもらいました☆  
どんな本を読もうかなと思った時に、参考にしてください☆

「ブロードキャスト」湊かなえ（3年女子）  
どうしようもなくなり、高校の陸上部をやめた町田くん。友達に誘われて、全く興味のなかった放送部に入りました。陸上への心残りはあるけど、全国放送コンテストに放送部の仲間と参加して、活動がだんだん楽しくなっていきます。私はこの本を読んで、うまくいかない時は、別の目標や夢を追いかけることで救われることもあるのだと思いました。



「家庭教室」伊東歌詞太郎（2年女子）  
ある大学生が、家庭教師をしている子どもやその家族の問題に向き合っていく物語です。大学生は毎日家庭教師をしていて、月曜から金曜まで5つの家庭を訪れて、話がすすみます。物語に出てくる羽田さんが、個人的には謎めいていて気になります。



「一〇五度」佐藤まどか（1年女子）  
物作りが好きな中学生が、いすを作るコンテストに参加します。途中父親が邪魔してきたり、けんかしたり、好きなことを続けるために様々な障害が出てきます。さわやかな気持ちになれるので、ぜひ読んでみてください！最後に書名「一〇五度」の意味が分かります。



「ようこそ、わが家へ」池井戸潤（1年男子）  
サラリーマンの主人公は、電車でのマナー違反を注意した男ともめて、自宅に嫌がらせを受け始めます。車をパンクさせられたり、郵便受けに動物を入れられたり、盗聴されたりと悪質です。嫌がらせを受け続け、会社でも上司が不正をして・・・と悪人がたくさん出てくる小説ですが、ぜひ読んでみてください。

